KSコミュニティ・ビジネス・アカデミー

第5期がスタート

文部科学省「社会人の学び直しニーズ対応教育推進プログラム」受託事業であるKSコミュニティ・ビジネス・アカデミー第5期が10月11日からスタートした。定員の倍以上の応募があり、厳しい選考を通過した35人が約4カ月の講義と実習に取り組んでいる。

開講式で徳田賢二アカデミー長（経済学部教授）は、「コミュニティ・ビジネスのパイオニアとなるよう、皆さんに期待している」とあいさつした＝写真。

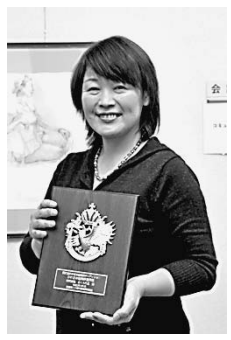
第2期修了の笠原泰子さん

かわさき起業家オーディションで

かわさき起業家優秀賞に

KSコミュニティ・ビジネス・アカデミー（以後、KSアカデミー）の修了生が学びの成果を発揮した。

第2期を修了した笠原泰子さんのビジネスプラン「『健康』をテーマにした心身活性化プロジェクト～生涯進化するデイサービス&コミュニティサロン経営」は、10月1日に行われた第67回かわさき起業家オーディションビジネス・アイデアシーズ市場最終選考会で「かわさき起業家優秀賞」を受賞したほか、「日本起業家協会賞」「かわしん賞」「りそな神奈川応援賞」など主要な賞を独占し、高い評価を受けた。



介護福祉士・介護支援専門員・福祉住環境コーディネーター・認知症ケア専門士の資格を持つ介護のスペシャリストである笠原さんは長年の経験から、高齢者介護の問題点を痛切に感じていたという。「高齢者の方々に生きがいを持って過ごしていただき、その知恵を周囲に還元できるような施設をつくりたい」と考えていた時期にKSアカデミー開講を知った。「仕事をしながらの通学でいつもギリギリに駆け込んでいましたが、先生方や同期の励ましのお陰で修了できました。豊富なネットワークも財産です」とKSアカデミーでの学びを振り返る。

デイサービス&コミュニティサロン「さくらの丘」は2011年3月のオープンを目指して川崎市麻生区に建設中。自身も車椅子生活の福祉住環境コーディネーター協会理事・福井善幸さんらにより、安心して生活できるバリアフリー設計となっている。コミュニティサロンはギターやダンス、調理などの特技を持つ人々が「ワンコイン（500円）講師」となり、デイサービス利用者以外も利用できる地域の交流サロンとなる。

10月22日に麻生市民交流館「やまゆり」で開かれた講師陣の第1回交流会には、同期の安藤進さん、石井謙治さん、佐藤寿美子さんのほか、さまざまな分野から賛同する約20人が集まった。一緒に計画を進めている中島恵子さんは「素晴らしい行動力です。行動が協力してくれる人の輪に広がり、ここまで進んできました」と笠原さんを評する。「『与えられるだけでなく、何かを残したい』という声を多くの利用者の方から聞いてきました。高齢者の活性化は地域の活性化にもつながります。皆さんの協力を得て、夢を一歩ずつ実現したい」と笠原さんは笑顔で話している。

叙勲受章者

秋の叙勲受章者が発表された。専修大学関係者の受章者は次の通り。

◇瑞宝小綬章
小林　辰男氏（こばやし・たつお）＝昭41法）

◇瑞宝双光章
尾形　耕一氏（おがた・こういち）＝昭32短商）
長谷川　國夫氏（はせがわ・くにお）＝昭48法）

◇瑞宝単光章
森田　勝治氏（もりた・かつじ）＝昭44法）

校友会からのお知らせ

〈佐賀鳳会総会〉
▽11月20日（土）18時開会▽佐賀駅南口2分「サガシティホテル・おさかな天国」圃亀井雄治氏☎0952（30）8419

〈東日本銀行支部総会〉
▽11月20日（土）16時開会▽JR上野駅徒歩5分「海鮮　昌屋」圃大谷剛氏☎04（7174）0770

〈杉並支部総会〉
▽11月23日（火）12時開会▽地下鉄丸ノ内線・南阿佐ヶ谷駅徒歩2分「スタジオ青蘭」1階圃木梨盛祥氏☎03（3304）9321

〈足立支部総会〉
▽11月27日（土）▽足立区・西新井大師門前「割烹小柳家」▽落語の会17時30分～▽校友の集い18時30分～圃渡辺啓泰氏☎090（4812）5047

〈四支部（柏・流山・我孫子・印西）合同忘年会〉
▽12月4日（土）17時開会▽柏市旭町「柏プラザホテル2階・麗宮飯店」圃高橋達雄氏☎04（7124）6470

〈山口県支部連合総会〉
▽12月4日（土）18時30分開会▽JR新山口駅・新幹線口徒歩1分「山口グランドホテル」圃蔵成幹也氏☎083（924）8551

〈台東支部総会〉
▽12月7日（火）18時30分開会▽台東区西浅草「どぜう飯田屋　別館」圃山下志朗氏☎090（1697）4720

〈沖縄県支部総会〉
▽12月7日（火）18時30分開会▽那覇市久米「うらしま」圃森敬氏☎098（878）3388

〈新宿支部総会〉
▽12月10日（金）18時開会▽新宿区歌舞伎町「球寿司」圃秋野鐵好氏☎03（3951）5869

◆校友会に関するお問い合わせは☎03（3265）7579まで

第16回アジア大会に専大から8人が参加（11月12～27日、中国・広州）

▽ボクシング＝川内将嗣さん（平20商）▽フェンシング＝福田佑輔さん（平16経済）、山本幸治さん▽レスリング＝稲葉泰弘さん（平20経営）、北村克哉さん（平20商）荒木田進謙さん（経済4）▽バスケットボール＝三谷藍さん（平13経営）▽ラグビー7人制＝村田亙さん（平2文・日本代表監督）

校友の本紹介

奇跡の医師

南堀　英二（昭52経済）著

土庄中央病院（小豆島市）で事務次長を務める南堀英二さん（昭52経済）がこのほど3冊目の著書を出版した。

小豆島の僻村に生まれ、東京帝大医学部に学び、戦前の上海で患者の国籍・人種を問わず命を救うことに奔走した日本人医師・頓宮寛。

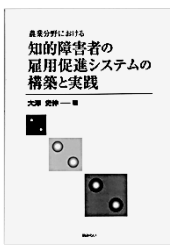
上海北四川路に東洋一の個人総合病院と謳われた福民病院を創設、魯迅をはじめとして、有名無名問わず中国の人々から絶大な信頼を寄せられた。

戦後は小豆島の内海病院の創設に尽力、初代院長として離島医療に取り組んだ。その奇跡の医業と、5カ国語を操るコスモポリタンな生涯を紹介する。

第1次上海事変時の写真など珍しい写真も多数収録している。（光人社　本体2000円＋税）

農業分野における知的障害者の雇用促進システムの構築と実践

大澤　史伸（平9院文修）著



障害者の自立支援の一つとして就労支援の重要性が高まっている。本書はそのなかでも近年注目を集めている農業分野に焦点を当て、知的障害者の就労形態の現状や就労支援の方法について、具体的事例を通して明らかにし、その課題を提示している。

著者の大澤史伸さんは本学大学院文学研究科修士課程社会学専攻を修了し、現在は名古屋学院大スポーツ健康学部准教授。

障害者福祉政策は障害者の雇用率を上げることに重点が置かれているが「知的障害者の継続雇用を行い、農業事業体の事業展開を支援し、中間支援組織を介在させることで、長期的に好循環できるシステムを生み出す」ことこそが必要だと大澤さんは説く。（みらい　本体2000円＋税）

専大校友を訪ねて

―あきらめずに、続けること―

初小説が映画化　映画監督・脚本家　矢城　潤一（じゅんいち）さん（昭61経済）

初小説が宝島社の第5回日本ラブストーリー大賞エンタテインメント特別賞に。それを原案に脚本家として参加した映画『ふたたび SWING ME AGAIN』（塩屋俊監督）は、東京国際映画祭で特別招待作品として上映、今月13日から有楽町・スバル座ほか全国でロードショー公開されている。

小説は不登校の高校生・大翔（ひろと）の目を通して、ハンセン病によって最愛の人と別れざるをえなかった祖父の55年に及ぶ愛を描いた。映画は、神戸を舞台に祖父と共にかつてのジャズバンド仲間を探すロードムービーに。

「大翔は、何をやりたいかわからず、もがいていた自分の高校時代に似ています」。書きためた脚本が20本ほどある。「『小説』という表現方法が新たな可能性を広げてくれました」。

専大在学中から映像の世界に興味をもち、撮影の現場で助監督として経験を積むうちに「映画を撮りたい」という目標を抱き脚本を書くようになる。しかし現場に入って10年。なかなかチャンスは巡って来ない。「ならば自分でやるしかない」と1998年、幻想的なサスペンス「ある探偵の憂鬱」を自主製作。海外の映画祭に招待され、レイトショー公開にまでこぎつけた。2008年公開の「ねこのひげ」は函館イルミナシオン映画祭で上映されるなど話題になった。「最初はレイトショー上映でも、口コミで評判が広がれば各地の映画館から声がかかります。上映後に観客の皆さんと語り合うのが最高に楽しい」。

助監督時代に北野武監督の第2作『3-4x 10 III』に参加。「型にはまらないそのスタイルに、『こういうスタンスでも映画を撮れるんだ！』と刺激を受けました」と振り返る。

「映画づくりの魅力は共通の目標に向かって、スタッフ一丸となって動いていく楽しさ。多くの人と出会い、経験してきたことが、今に生きています」。

次回監督作品は父親をテーマに来年5月ごろから撮影に入る予定。「今の自分があるのは、あきらめずに愚直に続けていたから」。

福城　遊氏（平22経営）が総合優勝

シニアは甘竹会長、団体は「親子会」が優勝

校友会グリーンカップゴルフ大会が10月8日、78人が参加して、秋晴れの千葉県・姉ヶ崎カントリー倶楽部で行われた。

開会式で伊藤良雄大会実行委員長（校友会副会長）のあいさつ、蒲田重勝競技委員長（同体育振興部長）の競技説明があり、競技がスタート。個人優勝とベストグロス賞は福城遊氏（平22経営）、シニア優勝は甘竹秀雄氏（昭33商経商）、団体優勝は親子会となった。

プレー終了後、岡嶋紀夫体育振興部副部長の司会で表彰式・懇親会が行われ、桃野直樹校友会副会長のあいさつのあと成績発表と表彰が行われた。なお、チャリティホールでの賛助金6万8000円は全額、専修大学へ寄付された。